第1回大阪市住居における物品等の堆積による

不良な状態の適正化に関する審議会

日時：平成26年7月7日

開会 午前10時00分

○事務局（松井代理） それでは、定刻になりましたので、第1回大阪市住居における物品等の堆積による不良な状態の適正化に関する審議会を開催させていただきたいと思っております。委員の皆さんには大変お忙しい中御出席をいただき、ありがとうございます。

私は、本日の司会進行を務めさせていただきます大阪市環境局事業部事業管理課長代理の松井です。どうぞよろしくお願いいたします。

冒頭、いわゆるエコスタイルにつきまして、委員並びに傍聴の皆さん、報道の皆さんに御案内させていただきます。大阪市におきましては、5月1日から10月31日に開催いたします会議はエコスタイル、具体的にはノーネクタイ・ノー上着を実施しております。御理解をお願いしたいというふうに思います。

なお、本日の第1回審議会は、事前に御連絡させていただきましたとおり、大阪市の「審議会等の設置及び運営に関する指針」に基づきまして公開とさせていただきます。本日は報道機関の方の取材も入っております。御報告を申し上げます。

ここで、報道関係者の皆さんをお願いしたいというふうに思います。会場内の写真撮影、録画及び録音は、会長が選出されるまでの間、委員の総意によりまして、審議会の進行の妨げにならない範囲で認めることとさせていただきます。会長選出後につきましては、会長より改めて指示をさせていただきます。よろしく申し上げます。

携帯電話をお持ちの方につきましては、電源を切るかマナーモードに設定をしてください。円滑な審議会の運営に御協力をよろしくお願いいたします。

なお、本日の会議内容につきましては、後日、大阪市のホームページにも記載させていただきます。

本日の委員の皆さんの出席状況でございます。委員数7名全員の出席をいただいております。お手元の資料、後ほど説明させていただきますが、「審議会規則」第4条第2項に規定します、委員の半数以上の御出席をいただいておりますので、本審議会が有効に成立していることを御報告申し上げます。

次に、お手元にお配りしております資料の確認をさせていただきます。御確認をよろしくお願ひします。

資料といたしまして、第1回大阪市住居における物品等の堆積による不良な状態の適正化に関する審議会次第、26年7月7日というふうに日時、会場、それから開会から閉会に当たりましてのA4の1枚もの、それから次に、右肩に資料1といたしまして、大阪市住居における物品等の堆積による不良な状態の適正化に関する審議会の委員名簿、すみません、50音順の敬称略で記載させていただいております。

資料2、これは適正化に関する審議会の傍聴要領（案）でございます。これは後ほど審議していただきます。それから、資料3としまして、大阪市住居における物品等の堆積による不良な状態の適正化に関する条例、3月に施行いたしました条例です。

資料4としまして、同条例の施行規則、資料5としまして、この審議会の会則、資料6としまして、後ほど説明があると思うんですけども、この適正化に係る経済的支援を条例で定めております。その経済的支援の実施に関する要綱、これが資料6というふうにつけさせていただいております。

それから、資料6の（様式）、これは経済的支援の実施に関する要綱の様式集であります。資料7としまして、制度概要、この適正化の条例に基づきます制度の概要及び条例の骨子、1枚もので書かれたものであります。パブリック・コメ

ント等もあります。その資料を参考に時点修正して。それから資料8、これが本日の審議会の資料であります。

それで、別添資料としまして、右肩にナンバー1、ナンバー2、ナンバー3というふうに振っておりますが、ナンバー1につきましては条例の逐条の解説、説明資料という形です。それから、ナンバー2になりますけれども、これは経済的支援に係る資料ということです。ナンバー3は25年3月に実施いたしました、いわゆる「ごみ屋敷」のアンケート結果についてであります。

以上の資料でございます。資料はそろっておりますでしょうか。

それではここで、初めての審議会ですので、審議会委員の皆さんの御紹介をいたしたいと思っております。

なお、恐れ入りますが、時間の関係もございしますので、私のほうから御紹介させていただきます。

黒坂則子委員でございます。

○黒坂委員 黒坂です。よろしくお願いいたします。

○事務局（松井代理） 田川亮委員でございます。

○田川委員 田川です。よろしくお願い申し上げます。

○事務局（松井代理） 中川元委員でございます。

○中川委員 中川です。よろしくお願いいたします。

○事務局（松井代理） 福岡英雄委員でございます。

○福岡（英）委員 福岡です。よろしくお願いいたします。

○事務局（松井代理） 福岡雅子委員でございます。

○福岡（雅）委員 よろしくよろしくお願いいたします。

○事務局（松井代理） 福山丈二委員でございます。

○福山委員 福山です。よろしくお願いいたします。

○事務局（松井代理） 山中成郎委員でございます。

○山中委員 山中でございます。よろしくお願いいたします。

○事務局（松井代理） よろしくお願いたします。

引き続きまして、大阪市の出席者を御紹介させていただきます。

大阪市環境局、山本局長です。

○山本環境局長 よろしくお願いたします。

○事務局（松井代理） 同じく、北辻理事でございます。

○北辻理事 よろしくお願ひ申し上げます。

○事務局（松井代理） 青野総務部長でございます。

○青野総務部長 青野です。よろしくお願いいたします。

○事務局（松井代理） 山本事業部長です。

○山本事業部長 山本です。よろしくお願いいたします。

○事務局（松井代理） 金箱事業管理課長です。

○金箱事業管理課長 事務局を担当しています金箱と申します。よろしくお願いいたします。

○事務局（松井代理） 大阪市福祉局、久保生活福祉部長です。

○久保生活福祉部長 久保でございます。よろしくお願いいたします。

○事務局（松井代理） 塩谷福祉活動支援担当課長です。

○塩谷福祉活動支援担当課長 塩谷でございます。よろしくお願いいたします。

○事務局（松井代理） 区役所から、鶴見区役所、筒井総務課長代理でございます。

○鶴見区（筒井総務課長代理） よろしくお願ひします。

生野区役所、木下企画調整担当課長です。

○生野区（木下企画調整担当課長） よろしくお願ひします。

○事務局（松井代理） 平野区から、小山福祉担当課長代理です。

○平野区（小山福祉担当課長代理） 小山でございます。どうぞよろしくお願

いします。

○事務局（松井代理）　　ここで、大阪市を代表いたしまして、山本環境局長から審議会開催に当たっての御挨拶を申し上げたいと思います。

○山本環境局長　　おはようございます。第1回大阪市住居における物品等の堆積による不良な状態の適正化に関する審議会の開催に当たりまして、一言御挨拶申し上げます。

委員の皆様方には、それぞれの専門分野の第一線において、大変御多忙な中、このたび、委員就任を御承諾いただき、心から厚くお礼申し上げます。また、平素から大阪市の市政に何かと御協力、御支援賜りまして、まことにありがとうございます。

さて、近年、家屋や敷地内にごみなどをため込み、悪臭や害虫を発生させるなど、近隣の住居の生活環境に大きな影響を及ぼす、いわゆる「ごみ屋敷」が社会問題化し、これまで区役所初め地域住民や関係機関が対応してまいりましたが、直接対応できる法的根拠がなく、任意の指導や調査にとどまっておりました。

そこで、問題の解決に向けまして、大阪市では昨年11月に、本審議会の名称にもなっております、「大阪市住居における物品等の堆積による不良な状態の適正化に関する条例」を制定いたしまして、本年3月1日から施行しております。

この条例により、原因をつくっている堆積者に対しまして指導・調査や命令・代執行、また、費用負担の問題で撤去などが進まない場合には、経済的支援を行うなど、実効性のある対応が可能となりました。

しかし、これらの対応を決定するに当たりましては、やはり公平性、客観性を担保する必要がございます。決定に当たり、本審議会に諮問し、御答申をいただき、事案の解決へ向けた取り組みを進めてまいりたいと思います。

本日の審議会では、本市のいわゆる「ごみ屋敷」対策につきまして御報告させていただきますので、委員の皆様方におかれましては、「ごみ屋敷」対策の推進

に向け、貴重な御意見を賜りますようお願い申し上げます。

また、これから委員の皆様には、区役所などからさまざまな事例が寄せられ、諮問、審議をお願いすることになりますが、どうか活発な御審議を賜りますようお願い申し上げます、簡単ではございますが開会にあたりましての御挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いたします。

○事務局（松井代理） ありがとうございました。

それでは、ただいまから議事に移らせていただきます。

先ほど申し上げましたように、本日は第1回の審議会であり、会長の選出をいただきたいと存じます。会長の選出方法につきましては、「審議会規則」第2条で、「審議会に会長を置き、委員の互選によりこれを定める」と規定されております。まず、会長を御選出いただきたいと存じます。委員の皆様、いかがでしょうか。いかがさせていただきますでしょうか。

○山中委員 山中でございます。会長の選任につきまして提案をさせていただきます。この審議会につきましては、大阪市が策定されたいわゆる「ごみ屋敷」条例に基づきまして、先ほどの委員名簿にもございますとおり、専門的な見地から審議するための法律、それから医療、廃棄物、公衆衛生、地域福祉といった各分野から委員の皆様方が選任されておられます。

他方、この審議会の審議事項につきましては、市として大阪市が命令、それから代執行、経済的支援を行う際の適否についてのことでございます。

これら審議事項の中で、命令、代執行につきましては法的な検討が通例、最も重くなることが予想されますことから、法律面での理論・実務双方で造詣の深い弁護士の中川委員に会長に就任していただければと考えており御提案を申し上げます。

○事務局（松井代理） 中川委員の御推薦の声がございます。御異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声)

○事務局（松井代理） 中川委員、いかがでしょうか。

○中川委員 了解いたします。

○事務局（松井代理） ありがとうございます。それでは、中川委員に会長をお願いしたいと存じます。中川委員、前の会長席のほうにお移りいただきまして、一言、御挨拶をいただきたいと存じますので、よろしく願いいたします。

○中川会長 弁護士の中川元と申します。初めてお目にかかる先生方もいらっしゃると思います。ここにいらっしゃる専門、それぞれの御専攻の御専門の先生方、先輩を差しおきまして、私のようなものが会長を務まるのか、甚だちょっと心もとないところではございますが、委員の先生方の御協力をお願いいたしまして務めさせていただきたいと思っておりますので、どうかよろしく願いいたします。ありがとうございます。

○事務局（松井代理） ありがとうございます。それでは、以後の会議の進行をお願いしたいと存じます。よろしく願いします。

○中川会長 それでは、ただいまから議事を進行いたしたいと思っております。皆様の御協力を得ながら、円滑に議事を進めてまいりたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

早速ですけれども、「会長代理の指名」ということです。会長代理の指名につきまして、お手元にもございますが、「審議会規則」第2条第3項によりますと、「会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長の指名する委員がその職務を代理する」ということになっておりまして、この規則に従いまして、私のほうから、僭越ではございますけれども、指名させていただきたいと存じます。

会長の職務代理者として、黒坂委員をお願いしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○黒坂会長代理　　ただいま、会長の中川先生より御指名を賜りました黒坂と申します。いまだ未熟ではあるんですけれども、精いっぱい務めさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○中川会長　　黒坂先生、よろしくお願いいたします。

それでは次に、「審議会の傍聴要領（案）」についてでございますが、まず、本議案について事務局から説明をお願いいたします。

○金箱事業管理課長　　事務局をやっております、環境局の事業管理課長、金箱です。よろしくお願いいたします。

お手元にお配りしております資料２に沿いまして、御説明をさせていただきたいと思っております。

資料２でございますが、「審議会の傍聴要領（案）」ということでお示しをしているところでございます。第１条で、この要領の趣旨を御説明し、第２条で「傍聴手続」、第３条で「傍聴することができない者」の規定を定めております。第４条で「傍聴者の遵守事項」、第５条で「会議の秩序維持」、第６条で「報道機関特例」、第７条で「補則」という章立てにしております。

この内容につきまして、本來說明するところではございますけれども、時間の都合もございまして、こういった形の傍聴要領を定めたいと思っております。御審議のほど、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

○中川会長　　ありがとうございます。それでは、本件につきまして、委員の皆様方の御質問、御意見等がございましたら、御発言をお願いいたします。いかがでございでしょうか。

特にございませんでしょうか。また、御異議ございませんでしょうか。

そうしましたら、異議がございませんようでしたら、原案どおり決定をさせていただきます。

それから、これに関連しまして、本日、傍聴及び報道機関につきましては、先ほど事務局のほうから御報告があったとおりでございます。御承知おきいただきたいと思いますが、委員の先生方、いかがでしょうか。不都合がございましたら遠慮なくおっしゃって。よろしいでしょうか。

なかなか、こういう中で御発言、難しいかと思えますけれども、よろしく願いいたします。

それでは、本日の報道機関の撮影につきましては、審議会の進行を妨げない範囲で許可いたしたいと思えます。

次に、「大阪市の審議会等に関する指針」というのがございまして、本審議会もその一つに入るわけでございますけれども、公開・非公開は審議会で決定することとなっております。私のほうから御意見申し上げたいんですけど、今回は公開とさせていただきたいと思えますけれども、次回以降の審議会につきましては、議案の内容が個人に関する情報など、公開できない事項を取り扱う場合が多々ございます。その場合、行政処分等の妥当性に関して審議を行うわけですから、公開することにより審議会の円滑な審議が妨げられる場合がありますので、その場合には非公開ということとさせていただきまして、これ以外の議案、具体的には今ちょっと、あまり思い浮かびませんが、などを審議する場合は公開ということとさせていただきたいと思えますけれども、よろしいでしょうか。

(異議なしの声)

○中川会長　それでは、そのとおり決めさせていただきたいと思えます。

それでは、審議会資料の説明ということで、本審議会の開催にあたりまして、これまでの条例の制定の経過並びに制度の概要、審議会の役割などの説明に移らせていただきたいと思います。資料に基づき、事務局より御説明をお願いいたします。

○金箱事業管理課長 資料につきましては、まず、資料7、A4の横長の分と、それからホチキスどめの資料8、こちらで御説明をさせていただきたいと思います。

まず、資料7でございますが、A4の横長の資料でございます。これは、この条例をつくるにあたりまして、平成25年の6月にパブリック・コメントを実施いたしました。そのときに、この制度概要及び条例の骨子ということで御説明ということでお示しした資料でございます。

この中で、真ん中より左側の括弧書きの(1)から(4)のところについて、まず御説明させていただいた後で、資料8の中身を説明させていただきたいと思います。

当然、「ごみ屋敷」ということでございますので、お住まいになっている住民の方、市民の方から申し出があったところで、それがスタートになります。

(1)の事案の把握・認知と、これは区役所が受けたところで、そこでそれぞれの事案について確認すると。そこで右矢印がございますけれども、必要な対策を検討し、それで進めていくというようなことがひとつあると。ただ、なかなかそういうことで解決にはもうつながらないということで、下の矢印で(2)に、対策会議の開催と、これは後ほど、ちょっと資料8のほうで説明いたしますが、今回の条例で対策会議ということを経験案の中に設けております。これは、各区役所が地域と連携して「ごみ屋敷」を解消する方策を進めるために、各関係機関、例えば福祉の機関とか警察、消防、その他行政機関等、地域のほうを含めまして、そういったところで必要な方々と意見交換をしながら、どういった方策でやっていけるかということで、右に書いてありますように、各区役所が開催をして、そういうふうなことで対策がどういうことがとれるかということを考えていくということでございます。

こういったところで解決すれば、条例という形の中でのこういった審議会にお

諮りすることもないんですが、なかなか御本人さんとのやりとりの中で、そういった形で解決までつながるといのは難しい場合に、本審議会の開催ということで、(3)のほうに移らせていただきます。

原因をつくっている者に対しまして、命令や代執行、または経済的支援を決定するにあたって、公平性や客観性を担保するために、本日、お忙しい中お集まりいただきました委員の皆様による審議会により、それにつきましての適否を御判断いただくと。その中で解決に向けて取り組むというのが、ここで書かせていただいている資料7の御説明です。

続きまして、資料8に今度移らせていただきますけれども、今書かせていただいている、資料7で書いていただいている部分というのが、まずちょっと資料、ページが飛びますが、6ページと7ページをごらんいただきたいと思います。

先ほどの資料7というのは、条例を制定するにあたってのパブリック・コメントということで、当時の大きな考え方ということで進みましたがけれども、その後、条例を進めるにあたって、リーガルチェックや条例制定部署等いろんな議論を重ねた結果、区役所と議論を重ねた結果、この6ページ、7ページが今、「ごみ屋敷」対策におけるフローということで考えていただいたらと思いますので、申しわけないですけれども、まずこちらのほうを続けて説明させていただきます。

6ページで、1番から2番、これが先ほどの事案の把握・認知というところと相当する部分で、住民等から通報や相談があれば、その現地を見て確認すると。その上で、③で、堆積者等へ働きかけると。いわば、物品を堆積している者、原因となる、原因をつくっている者との対話等により信頼関係を構築したりとか、いろいろ解決方法をお話ししたりとかということが、ここまでの任意の仕事でございます。

④が、先ほど申しました対策会議。対策会議でいろいろ意見が出た上で、再度、本人さんと指導、指導によってもなかなか前へ進まない場合、勧告といったこと

を区役所のほうで対応しまして、その間、いろいろ対応策で解決に向けて行く場合、右のほうの矢印、ごみを撤去して、再発防止の取り組みと。再発防止の取り組みというのは、福祉的な施策とか地域の見守りとか、いろんな形を活用して、もう一度「ごみ屋敷」になることのないように取り組んでいくと。その中で、その再発防止の間にある経済的支援というのが書いてありますが、これは審議会の諮問を経てということで、この場で議論いただく場で、後ほど、この点につきましては詳細に説明いたします。

続きまして、そういった形で解決をしない場合に、7ページの審議会への諮問をして命令を行うと。命令につきましても、どんな命令か、ごみを撤去するという形になるのか、それともごみを適正に保管するという形になるのか、それとも、なにかそういう違った命令を行うと、そういったことにつきましても御審議いただくことになろうかと思えます。

それでも解決に至らない場合、最後の9番、10番というところで代執行ということについて、適否どうか、まだ代執行に至るまでにいろいろすることがあるんじゃないかといったことの部分につきましても、それぞれ、各専門の方々のお考えからいろんな意見を出していただいて、その上で行政代執行の要件等がどうなるかということ踏まえて進めていくということが、この「ごみ屋敷」対策の一連の流れということで、まず、それを先に説明させていただきました。

すみません、戻りまして、資料8の1番目でございますが、「ごみ屋敷」条例を制定する、「ごみ屋敷」対策をやるということの経過でございます。これは大阪市だけでなしに、こういったごみ等をため込みというか、御本人にとってみればいろいろ、自分なりのお考えがあって、それぞれ、自転車をためたりとか、工具をためたりとか、新聞・雑誌をためたりとか、そういうことで、自分としてはそれなりのお考えがある中でそういうふうな行動をとるんですけども、それが悪臭や害虫を発生させるなど、近隣の住民の生活環境に大きな影響を及ぼすとい

うことで社会問題化している。

その中で、こういうことに対して取り組みを各区役所等やっておりますが、なかなか法的根拠がない。法律でもなかなかダイレクトにできないという中で、大阪市の場合、条例を制定するというので、そういう方向で考えたところが1ページでございます。

続きまして2ページが、この「ごみ屋敷」対策の条例をもとにする制度の概要でございます。先ほどのところと繰り返しというか重なるところが多いですけども、調査をした上で指導・勧告を実施すると。それから、関係機関とか関係者とかも集まって対策会議ということで、いろんな意見交換をし、そういうふうなことでの、今まである、例えば福祉のほうの施策とかを何か利用できないかと。そういう形のを考えると。それから、3番目の○として、撤去することには納得したけれども、撤去費用とか負担できない方に関して、経済的支援を実施すると。それからまた、経済的支援とか命令等とか、そういう代執行についても審議会で検討するというのがこの2ページでございます。

3ページの条例の主な内容ということで、目的と定義と責務を書かせていただきました。目的といたしましては、市民が居住する建物、だから空き家とかそういうところについて、空き地とかいうのは今回のこの条例では対象外と、そういうところに物を堆積することによって不良な状態をつくったことを解消すると。したがって、ごみということの廃棄物ということで決めるんでなしに、物を堆積したことによって不良な状態を生み出したということを解消していこうということが目的でございます。

したがって、この条例では一般的なごみとかいう言葉、それから原因者という言葉と違わせて、定義といたしまして、堆積物とか堆積者ということを使っております。堆積物ということは、堆積することにより不良な状態の原因になっている物品等ということで定義をする。堆積者というのは、物品等を堆積する

ことにより不良な状態を発生させている者ということで、この条例では、普通一般に使っているごみとか原因者ということを、ちょっと違う表現をしております。

責務としましては、本市はそういう不良な状態にある場合、総合的に対策を講ずる必要がありますし、市民は居住する建物等を不良な状態にしてはならないという義務を課しております。建物等の所有者、管理者はその建物等が不良な状態にならないよう努めなければならないという、これは努力義務でございますけども、そういったことも課しておるとというのが、まず一つ、条例の主な内容です。

続きまして4ページでございますが、条例の主な内容(2)といたしまして、そしたら、そういったことに対してどういったことをやっていくかということで、これはちょっと繰り返しになりますので、先ほども御説明した対策会議とか審議会とか、そういったことについて条例を定めておると。

5ページでございますけども、この本審議会についてということで、先ほどからざっとした流れを御説明しておりますが、そしたら、審議会では一体どういうことを議論いただくかということを書かせていただいております。区役所でいろいろ実態を把握し、本人にも働きかけ、いろんな施策をとってやってきたけども、それでもなかなか解決に至らないというところについて、この命令、代執行、経済的支援の実施の適否、それについて諮問をして答申をいただくと。

したがいまして、審議会ではそういうところについてのそれぞれのお立場から区役所が実際にとった行動、実際にやった対応について、いろいろと意見をいただく。十分、不十分、それから、いろんなほかのそういうふうな対応策もあるんじゃないかといったことを踏まえて議論をいただいて答申をいただくというような形になると考えております。

6ページ、7ページは先ほど、一番冒頭に説明いたしましたので飛ばしていただきまして、8ページにおきまして、区役所の役割等について書いております。

8ページ、9ページでは具体的に区役所等の役割ということで、先ほど説明した

一連の流れの中で、実際区役所がどういったことをするのかということを書いておられます。ここについては実務の点でございますので、一々、逐一説明するという形よりも、ちょっと後ほど目を通していただければなと思いますので、続きまして10ページでございますが、10ページにつきましても同じように、命令とか代執行につきまして、区役所がどういった役割を行うのかということについて、実務的な面からちょっと書かせていただいております。

今、ざっとこの資料8によって説明させていただきましたが、この部分というのは、今までいろいろ私どもが議論したエッセンスでございますので、本日、別添資料をおつけしておりますが、このナンバー1におきまして、逐条解説をつけています。先ほどのところについては、それぞれ全て、例えばここで関係する審議会に関しましては、この別添資料の、まずナンバー1の23ページに、「審議会について」ということで逐条解説を書いております。

こういった形で、今までこの資料8によって説明したことにつきましては、この逐条解説でもう少し詳細に書かせていただいておりますので、これも本来でしたら逐一説明するべきでしょうけれども、ちょっと時間の関係ということで、これにつきましては後ほどごらんいただければなと思っております。

資料8にある項目につきましては、それぞれ全て章立て、条文に基づきまして逐条解説を書いておりますので、その点、よろしくお願ひしたいと思います。

一応、11ページまで、この条例の制定から今の条例の中身ということで説明させていただきますので、12ページから、経済的支援につきましては、福祉局さんのほうで御説明をお願いします。

○塩谷福祉活動支援担当課長 失礼します。福祉局の塩谷でございます。12ページ、13ページ、経済的支援の部分につきまして御説明させていただきます。

これにつきましては、審議会でご意見等いただく事項の中で、命令・代執行に先駆けて出てくるのではないかとこのように考えておりますので、少し細かく、

今つくり込みを進めております。

具体的には、資料の12ページ、要件といたしまして、条例第2条の各項及び第10条以降に書かせていただいております。条例につきましては、資料の3のほうにつけさせていただいております。それから、施行規則の第5条及び支援決定につきましては実施要綱というのを既に定めさせていただいております。これは資料の6番のほうにつけさせていただいております。

後ほど、ちょっとまた御案内をさせていただきますけれども、支援の要件、審査資料、経済的支援にかかる審査基準につきましては、別添資料のナンバー2のほうに案をつけさせていただいております。これもちょっと時間がございましたら、後ほど御案内させていただきたいと思っております。

支援の内容及び方法につきましては、堆積物の処分だけでなしに、悪臭の除去ですとか害虫の駆除、その他、いわゆるごみを片づけるだけでなしに、周辺的生活環境に必要な部分にかかわるもの一切を費用負担をしていく必要があるというふうに考えております。

また、支援の対象費用といたしましては、業者委託した場合には業者に対する委託料、それから、業務に関して備品、薬品、消耗品、その他物品を購入する場合の購入費用、あるいは借り入れする場合には借り入れに要する費用を想定しております。それから、ごみを最終処分場に運び出しをしますので、それにかかる処理手数料も含まれております。

また、それ以外にということで、やはり業者委託に限らず、地元の方々ですとか関係NPOさんなんか協働して一緒に片づけてあげましょうと言っていた場合には、それに対する謝礼金とボランティア活動保険に入っているための保険料を想定しております。

謝礼金といたしましては、これは労働とは違いますので、1時間当たり500円、1団体当たり最大5万円というものを想定しております。これらを含めま

して、次のページに入りますけれども、支援といたしまして100万円を限度として行うということで、既に先行事例として取り組まれております東京都の足立区さんの「ごみ屋敷」に関する経済的支援、こちらも基本、1世帯当たり1回を限度として、合計100万円を限度とするということでされておりますので、それに合わせた形で実施をしておきたいと思えます。

少し戻っていただきまして、資料の6番、要綱のほうをごらんいただきたいと思えます。先ほど申し上げましたように、この部分につきましては恐らく命令・代執行よりも早い段階から実務的に問題になるであろうということがございますので、関係区、関係局等、意見を持ち寄りまして、既に要綱として制定をさせていただいております。

ざっと概観をさせていただきますと、第1条趣旨、第2条定義につきましては省略をさせていただきます、第3条の要件という部分につきましては、第1項1号の市町村民税が課されていないこと、これは、当該家屋に住んでおられる方の全員が市町村民税が非課税であるということで、収入額が非常に少ないということを示しております。

また、第2号につきましては、土地建物その他の不動産を所有していないこと。ただしということで、一定の場合につきましては、居住用の土地建物所有については認めていくという方向で制定をしていきたいというふうに考えております。

また、第3号といたしまして、保有する現金、その他資産につきましては、換金性のある資産につきましても、処分価格の総額といたしまして、他の福祉関係諸制度とのバランスを勘案いたしまして、総額を、御本人様限りの場合、150万円まで、世帯全体で200万円までを保有限度という形にしたいと考えております。

また、過去に支援を受けたことがないことというのを第4号に書かせていただいております。ただしということで、特別の事情がある場合につきましては、例

外的にこれを認めていくというふうに考えております。

また、第2項といたしまして、これら支援を受けられない方につきまして、いわゆる無差別大量殺人を行った団体に関する法律に規定する者あるいはそういった影響のもとに活動しているものと認められる者、あるいは過去に支援の取り消しを受けた者、それからその他支援を行うことが不相当と認められる者、こういった方につきましては支援は大阪市としてはできないというふうに考えております。

また、第3項につきましては、これはあくまでも誰がその近隣の生活が不良であるかということ判断するということで、例えば、大阪市でございましたら3行目に書いております地域活動協議会に参画する市民団体の代表者、その他これに準ずると認められるといった、地域を代表する団体のほうから、不良な状態の解消を求める要望がある場合というのを要件とさせていただいております。

それから、第4条の支援の内容・方法につきましては、先ほど申しあげました内容等は重複いたしますので、省略させていただきます。対象費用につきましても、先ほど御案内申しあげましたとおりです。第6条につきましては、支援の限度額として100万円を限度とすると。

申請につきましては、第7条、これは手続書類の必要性を書かせていただいております。また、第8条では、撤去業務等の内容に関する同意というものを求めています。これは、先ほど環境局からの説明にございましたように、やはり私的な財産権の処分という側面を必ず伴いますので、やはり、あれを捨ててもらっては困る、非常に貴重なものだったんだというようなことを言われますと、これは応援のしようがございませんので、やはり相当の注意義務を払うということは前提としながらも、やはり基本的に撤去業務については御本人の同意とセットで経済的支援については申請をしていただくという建てつけを想定しております。

それら条件が調いましたら、第9条によりまして、これは今申しあげましたよ

うに、審議会の御意見をいただいた上で市長は支援決定をさせていただき、御本人に対して支援決定・却下通知等をさせていただくということを決めさせていただいております。

また、御本人から申請の取り下げがあった場合の取り扱い、支援の変更があった場合の取り扱い、決定の取り消し、その他につきまして以下、定めさせていただいております。具体的内容につきましては、また時間がございましたら御意見をいただければなというふうに思っております。よろしく願いいたします。

○中川会長　　ありがとうございます。それでは、ただいまの経過とかいろいろ御説明について、委員の皆さんのほうから御質問等ございましたら、御遠慮なくお願いしたいと思います。

○山中委員　　山中でございますが、資料8の1ページでございます、昨年3月時点で大阪市の「ごみ屋敷」件数が77件ということですが、今現在、どれぐらいの件数があるか、審議会で審議しなければならない件数といえますか、見込みといえますか、そういったところの状況を教えていただければと思います。

○中川会長　　事務局、お願いします。

○金箱事業管理課長　　今、山中委員よりの御質問ですけれども、ここで資料1で書かせていただいている77件というものにつきまして、本日の、先ほどの別添資料、参考資料のナンバー3にちょっとつけておるんですが、当然、「ごみ屋敷」対策ということで、条例を制定するに当たって、その時点で実態を全然把握できてなかったと。その上で進めるといわけにはいかないもので、各区においてそのときに困っておられる、市民から言われていろいろ悩んでおられる案件がどうですかということで、本当に、だからここで書いてあるようにアンケートという形で各区から報告いただいたのが77件ということでございます。

したがいまして、今現在、本日ですと、例えば「ごみ屋敷」というのがどんなんやというのか、先ほどの定義でこういったことについては「ごみ屋敷」やとい

うことで、ある程度お示しできるんですけども、当時はそうじゃなしに、区として抱えている、一応案件はどうですかということでやった次第でございます。

その後、今現在の実態把握ということでございますけども、その後、77件の後、そういった形の調査というのは今のところまだちょっとできておりません。委員の御指摘のとおり、この本日の審議会を経て、今の御意見いただいたところで、この後、やはり各区に説明会等も行い、その上でやはり実態というのを、先ほどの8ページ、9ページで調査とか働きかけとか対策会議、それからどういったところという、そういう各段階になっておる事例がそれぞれ色分けできていると思いますので、そういったところを確認した上で、それを把握しまして、できましたらこういう機会にお示しするか、そういう機会がなかなか時間がとれないのであれば、各委員に資料提供ということでお示しさせていただけたらと考えております。

現在のところ、具体の数字をちょっとつかんでおらないという点、ちょっと私どもの至らないところがございますけれども、そういう状況でございます。

○中川会長 山中委員、よろしいですか。

○山中委員 はい。了承いたしました。

○中川会長 委員の先生方、何かございませんか。

基本的なところをまず、確認だけ。審議会の役割としては、要するにそういうことであれば、経済的支援をすべきかどうかについて諮問を受けるということが1つですね。それから、命令を出すか出さないか、どういう命令を出すかについて受ける諮問が2つ目と。3つ目は、代執行に至るかどうかについて諮問を受けて答申すると、こういうのが基本的な役割ですかね。

○金箱事業管理課長 はい、今のところそういう点は本審議会でも審議いただいて、答申いただこうと思っております。

○中川会長 わかりました。私のほうから一つだけ、ちょっと細かい御質問に

なるのかもしれませんが、経済的支援を行うかどうか諮問を受ける際、この先ほど、最初に御説明のあった資料 8 の 6 ページ、7 ページのこの流れのところを見ますと、対策会議を区役所で開かれる前にも支援を求められる場合があります。得るようになっておいて、確かに条例上もその対策会議を開いてからというのは一々書いてないんですけれども、それは一応、何か区役所で対策会議を開かれるケースを想定しておいてよろしいんですかね。

○塩谷福祉活動支援担当課長　基本的には対策会議を開催した上でという、状況についての情報なり地域としての認識をある程度整理した上で御判断いただくというのが基本だというふうに考えております。ただ、極めて例外的に、例えばもう本当に周辺の方々が、もうとても我慢できないですとか、あるいはもう火災発生のおそれなどが現実のものとして既にあるというような場合には、やはりスピードのほうを優先させていただく必要が、もしかするとあるかもしれないというふうに考えております。

○中川会長　わかりました。

どんな御質問でも構いませんので、確認しておきたいということがございましたら、先生方、きょうは比較的時間があるようですので。

すみません、御質問ないようでしたら、基本的なところばかり伺いますけれども、審議会については条例の 1 2 条に役割が書いてございますね。今さっき言いました具体の諮問に答える以外には、そういったような議論をする中で、この 1 2 条 2 項で言えば、何か市長に御意見申し上げるというようなことがあったら、それは別途というふうに理解してよろしいんですか。

○金箱事業管理課長　そうですね。別に諮問、答申のみをこの審議会ということではないと。ただ、あくまでもやっぱり中心はそこになるろうかと思いますが、当然いろいろ、国の動向とかいろんなことがあったときに、その辺のことにつきましても御意見を賜ればと思っておりますので。

○中川会長　　すみません、私ばかりで申しわけございません、質問とかが。東京の足立区さんで、このいわゆる「ごみ屋敷」条例というのが先行して施行されているように報道されてますけれども、まだそちらも、まだ施行されて間なしということで、あまり情報等もこちらにもないようでしょうけれども、何かその辺について計画といたしますか、確認されるような御予定とかございますでしょうか。

○金箱事業管理課長　　一応、私ども事務局で、ちょっと足立区さんにお伺いしたことはないんですが、この条例をつくる中でワーキングという形で、それぞれ本日参加いただいている区役所さんも入っていただいた中で、それぞれの中で足立区さんに直接問い合わせをしたケースもあります。

ですが、それを全て今ちょっと手元に本日までようまとめ切れておりませんが、ちょっとこれを含めましてきちんとまとめさせていただきたいと思っておりますけれども、26年3月末現在で、足立区さんのほうで、行政代執行は1件もございませんが、条例に基づく勧告というのは3件やっております。

したがいまして、会長、今お話のところはそういった内容がどんな形で、どういった経過でというようなことも、ちょっと情報をつかまないといけないのかなと。そういったことをまた提供して、具体の大阪市でやる場合にも参考にとということにもなろうかと思っております。そういった資料を把握しないといけないというのが今の御質問かと思っております。

もう一点、条例制定後の経済的支援の実施状況でございますが、支援の実施といたしましては2件あると。それから、協力団体への謝礼というのは4件あると。支援の実施につきましても、中身はちょっと把握できてませんが、実際量の金額としましては、2件合計で101万4,000円と。協力団体への謝礼ということとは4件で14万3,000円というような、ちょっと足立区さんのほうから資料としていただいておりますところがございます。

こういったことを含めまして、今の会長の御指摘を踏まえて、先ほど、山中委

員のこととか、ちょっと資料を事務局のほうでまとめて、また御提示して、きちんと御説明しないといけないと思います。

○中川会長　ありがとうございます。

私からの御提案なんですけれども、今、山中委員もおっしゃられまして、事務局、金箱さんのほうからありましたように、区役所での今までの調査というか現況なんかどうなってるのかとか、それが審議会、どのぐらい忙しくやらなきゃならないのかということにも関係しますし、いろいろ情報、入手が難しいところがあるでしょうけれども、その足立区さんの現状とかも参考にさせていただきたいと思いますので、一度、そういったような個別の案件にいきなり入る前に、ある程度情報等、整理していただけたら、何かこういう会をもう一度設けるというのはいかがでしょうか。

先生、どうぞ。

○福岡（雅）委員　別添資料のナンバー3の16ページ、17ページをちょっと先ほどから拝見してまして、今、会長がおっしゃったお話は、ちょっと前の、1年以上前の状況かと思うんですけれども、ここでその大阪市内でどういうふうになっているかというのを割とわかりやすくまとめていただいているように思います。

それで、すごく市役所の職員の方とかが御苦勞されて、何か支援されているんだなというのがちょっとよくわかりましたので、ちょっと見つけたものですから御紹介したいと思います。

○中川会長　ありがとうございます。すみません、私のほうが勉強不足で申しわけございません。

はい、どうぞ。

○福山委員　この「ごみ屋敷」問題を解決するために、大阪市さんが条例をつくって、それをもとにいろいろ指導していくということですけども、直接には関

係しなくても、いろんな法律もかかわってくるんじゃないかと思うんですが、私も専門が悪臭なので、悪臭防止法という法律があるんですけどね。実際に、環境省の方にも聞いても、やっぱり「ごみ屋敷」問題では、悪臭防止法を盾に、立入検査とかあるいは改善命令とか改善勧告とか、そういうことをやっていくことはかなりちょっと難しいというふうな御意見をちょっと環境省に聞きまして、だから悪臭についてはどうしたらいいものかなとか、いろいろちょっと思ったんですけども。

ほかでもいろいろ危険物があれば消防法とかそういうのにも少しかかわるのかなとか、いろいろちょっと思うんですけども、ああいういろんなものの保存とか、そういうものについてですね。私、あまり法律のことはわからないんですけども、ちょっと感想としてそう思いました。

○中川会長　黒坂先生、もう、御専門でいらっしゃいます。要するにいろんな法律が関連してそうで、例えば廃棄物の話だったら、先ほどありましたように産廃に限るとか、要するにいろんな法律のないところでございますので、しかも先ほど、言葉を注意深く分けられましたように、ごみであるかないかというのは非常に難しい議論で、これも皆さんも御承知のとおり、判断は大変難しい。所有物であることは間違いないんで、その所有者の所有権等、それから近隣の方の生活環境、公衆衛生等含みますけれどもありますでしょうね。

だから、今までこういったような条例はほとんどなかったし、なかなか難しい問題だと思います。その中で、この審議会が御意見申し上げなきゃならないという非常に重大な役割を担っているわけで、事案を確認しておきたいというのも、言うたらケーススタディみたいな形で、一度、特にこういう御報告いただいているような中で、その後の1年の状況を踏まえて、かなり厳しい案件とか、まだ審議に上がってこなくてもそういう、どういう案件かというのを私ども自身が勉強しておく、なれておく必要があるんじゃないかというのが、ちょっと私、きょう

までに感じた次第なんですけどね。

先生、どうぞ。

○黒坂会長代理　　中川先生のおっしゃるとおりなんですけれども、足立区さんが先に、非常に、さらに似通った条例なのかなと個人的には思ったんですけれども、先ほど出てたように、悪臭に関する法律に関しても適用がなかなか、事業者ではないのでできないとか、あと、道路交通法とかで道路に関しては、出ていればできるんですけれども、私有地ですのでなかなか財産権の問題、しかも今回は堆積物でしてらっしゃるのでいいんですけれども、なかなか廃棄物であるかどうかも判例上、なかなか難しいということがあるので、条例をおつくりになられたということで、よく理解できるんですけれども、1点、確認だけしたいんですけれども、建物の所有者が例えばわからないときの即時強制というのは、今回は対象外という理解で、先ほどおっしゃってましたけれども確認だけしたいと思ってお聞きしたいんですけれども。

○金箱事業管理課長　　建物の所有者がわからない、居住していない場合につきましては、今回のこの条例では対象には入れないと。当然、大阪市が手を出さないかという、これは建築基準法の関係から当然、建築指導部というのが建築基準法に基づいてやる部署がございますので、そちらのほうでも老朽家屋とか空き家とかにつきましてはの検討は並行して進めておると聞いておりますので、そちらのほうの対応でということ考えております。

○黒坂会長代理　　大阪市は空き家条例等はまだないんですか。

○金箱事業管理課長　　空き家条例は制定していないと、聞くところなので、ちょっとこの場で言うてどうかと思うんですけれども、建築基準法の中の指導の部分で対応できるんじゃないかというような議論をしているというふうにはお聞きしております。

○黒坂会長代理　　ありがとうございます。

○福岡（英）委員　　すみません、単純な意見なんですけど。

○中川会長　　先生方、札を前のほうに向けていただけますか。お名前を。

○福岡（英）委員　　私、民生委員で、身近の事例として2件ほど報告します。

3年、4年前にちょっと「ごみ屋敷」がありまして、汚泥も出たみたいで、その前後にケース会議、役所の方とか建設局や環境事業局とか集まってお話ししたんですけどね。感じたのは、そこだけの話みたいで、その部分は近くの方が、私、解決するというところで、終わったんですけど。

こういう条例できたということで、区役所の方がやっぱりもうちょっと連携を取り持ってやっていただかないとなかなか、それまでにほとんど解決する部分が多いんじゃないかと思えますし。もう1件は、最近、高齢者の方の家の中がごみ屋敷状態で、その対策で、動かれたのが包括支援の担当の方とランチ、それと役所の高齢者担当の方、地域の方、かなり頻繁にこの16ページ、さっき福岡先生がお話しされてましたけども、すごく頻繁に来られてました。

話の中でやっぱり押したり引いたりというんか、怒られたり、話の中で1回、2回でつかない、私の近くだったんで時々行かせていただいたんですけれども、結局、その方は実費60万ぐらいで整理されました。本人さんは介護付のマンションに移られました。「ごみ屋敷」の問題も、親切に役所の方が、その関係者が対応していただけたら、そこで大体、半分以上は解決するとは思いますが。区役所のすごく役割が大切になってくるかと思うので、役所の横の連携もこれからされると思えますけども、それは十分にまた、局のほうからも、いろんな局が絡んできますんで、できたらそういう対策もきっちり、されてるとは思いますが、身近なところで感じたのはそういうことです。ちょっと余分な意見かもわかりませんが、以上です。

○塩谷福祉活動支援担当課長　　基本的には、今福岡委員からお示しいただきましたように、対話と説得というのが基本であるという部分がまずベースにござい

ます。その上で、やはり各機関、近隣の方々も含めて、いろんな方がかかわっていただいています、これまでも。資料8の6ページ、7ページのところにフローをお示ししております。ここで言いますと、その対話と説得の中で、この①②③、このあたりまでで解決している事案も結構あります。

また今回、条例の中でこの④の対策会議というものです。関係機関が集まっていろいろ情報交換をしたり役割分担を話し合おうと、これも今まで、先ほど福岡委員からお示しいただきましたように、ケース会議的に情報交換していただいている部分もあるんですけれども、条例の上での会議という形で位置づけがはっきりしましたので、それぞれが自分の役割として地域の方々ですとか区役所はもちろんですけど、地域包括支援センター、あるいはこの社会福祉協議会、さまざまな団体がかかわっていただけて情報交換していくと、そういったものも調査権限とあわせて位置づけがされています。

その上でなおかつ状況が動かない場合に備えてということで、指導、勧告、命令という流れと経済的支援という流れ、二通り用意をさせていただいてますけれども、あくまでも対話と説得が基本であるという点につきましては、私ども区役所を含めて認識としては共有させていただいておりますし、地域課題という意味で、区役所にはこれらが一義的に重要であるということから、この資料でも区役所の役割等についてという形で、地域課題として区が主体的に動くということ想定して整理させていただいております。補足でございます。

○中川会長　ありがとうございます。委員の先生方、いかがですか。

○黒坂会長代理　質問等では全くないんですけれども、実は、経済的支援に関して、今後、もしかしたら議論になるのかなと思ひまして、ちょっと議論を提示したいんですけれども、すごくよくわかりますし、必要である。補助金あるいは補助とはいえ、やはり重要事項ですので審議会のこういった場の第三者などの意見を聞く場がある必要があるんですけれども、いわば一個人に対しての補助と思

わはる市民の方々もおられた場合に、一定、公益性があるから経済的支援をするのだという理由が必要であって、一個人に対する補助ではないという、実質、一個人に対する補助なのかもしれませんが、一個人に対する補助ではなく公益性があるために経済支援をするのだという認識は、一定必要なのかなというふうな、個人的な感想なんですけれども思って、例えば、あまり件数が多いとどうするのかとか、あと、どういった優先順位でどういうふうにとすることはまた問題になるのかなと思ひまして、御意見させていただきました。

○塩谷福祉活動支援担当課長　　今お示しいただきましたように、あくまでも個人の家のお片づけではなしに、近隣の生活環境に対して悪い影響を与えておると、その原因を除去するために、むしろこの原因者負担というのが大原則としてあるわけなんですけれども、何とかしなさいというだけでやりたくてもできないということで、近隣の方々がいつまでもそれをじゃあ我慢しなきゃいけないのかというところが、この経済的支援の制度創設の趣旨としてございます。

ただ、今、黒坂委員からお示しいただきましたように、やはり優先順位の問題、件数の問題、これもまだ一定の想定のもとにはじき出しをしておりますので、たくさん出てきた場合には当然、やはり危険性ですとか近隣への影響、そういったものの影響が大きいものから順位づけをしていくとか、そういった作業も必要かもしれませんし、あるいはごみを全部片づけてしまうというところではなしに、一定、家の中の生活部分についてはある程度目をつぶっていただいて、近隣への影響の及ばないようにとりあえず措置をするというところでとどめるというような、部分的解決にとどめる、そういった場合も今後必要になってくるかなというふうには考えております。そのあたりにつきまして、また事例を見ながら御審議賜りたいというふうに考えております。

○中川会長　　結局、この審議会で命令とかあるいは経済的支援というのは、非常に具体的な、どういう支援をするのかとか、それから勧告をどういう勧告をす

るのかというのは、かなり事案に即したことになると思うんです。先ほど福岡委員もおっしゃられましたように、当然、区役所さんのほうでいろいろ対策されて、その行き着くところにここに来る、また、審議会の性格もございませけれども、やはりそういう具体の事案の経過というのを踏まえて、やっぱり判断しなきゃならないところがありますので、やっぱりそういう御報告をきっちりいただかないと、法的な判断がなかなか難しいなというふうには思いますけどね。

○塩谷福祉活動支援担当課長 手続的には今後また詰めていく必要が実務的にございませけれども、やはり審議いただくに当たりまして、これまで地域なり区役所のほうでどういったアプローチを重ねてきたか、それに対してどういったリアクションがあつて、あるいは周辺の関係機関のほうでもどういった形でこれまでかかわってきたか、あるいはそういった命令なり経済的支援をした結果として、今後どういった状況が想定されるか、そういった経過なり、今後の見通し、あるいは状況に対するフォロー、そういったものを含めて御審議いただく必要があるというふうに考えておりますので、そのあたりを整理した上でまた御意見いただく形になろうかと思ひます。

○中川会長 ほかに何か、先生方、御意見含めましてございませでしょうか。とりあえずこの辺でよろしいでしょうか。いいですか。

そしたら後、これで一応、審議事項の2、3、4は終えまして、あと、今後のスケジュールですよね。それについて、事務局のほうから御説明をお願いいたします。

○金箱事業管理課長 この審議会のあり方というか進め方ということで、本来の審議会ですと、例えば定例的に行うということもあろうかと思ひませけれども、先ほどのお話もありましたように、まだ今、具体の数字を把握してませんし、このところ、再度きょう、会長、委員の先生方からあつた部分をまず一遍やると。その後、区から挙がってきた部分につきまして、やはり日程調整のことを含めま

して、やっぱり1カ月ないし2カ月ぐらい前にこちらの事務局としても把握した上で、次回、こういった形の審議会を個別に御相談させていただくのがやっぱり現実的かなと思っておりますので、そういう進め方をさせていただけたらなと思っています。それについて、委員、会長の御意見を賜りたいと思います。

○中川会長　　今、事務局から御報告ありましたけど、御提案ございましたけれども、いかがでしょうか。特に、そういった方向でよろしいでしょうか。

それでは、事務局のほうからその前提で。

○金箱事業管理課長　　ありがとうございます。今後、そういう形でできるだけ私ども、状況把握して、資料、詳細をつけて、また御相談させていただきます。よろしくをお願いします。

○中川会長　　ということは、次回の日程というのは、今ここで決めなくてよろしいでしょうか。

○金箱事業管理課長　　申しわけないです、また再度、足立区なり確認した上で、早急に日程調整はさせていただきたいと思いますが、よろしくをお願いします。

○中川会長　　大体、また秋ぐらいになりますかね。そのようでございますので、皆様方、御予定というか、御承知おきいただけたらと思います。

そういったような、各区からの要請は次々回以降になるかと思いますが、市長から諮問がまいると思いますので、そのときは日程等、今、事務局の報告がありましたように調整させていただきまして、本審議会を開催させていただきたいと考えておりますので、御協力いただきたいと思います。

それでは、以上で本日の予定していただいた事項は終えたと思います。

本日はこれで閉会したいと思います。大変お疲れさまでございました。ありがとうございました。

閉会　午前11時15分